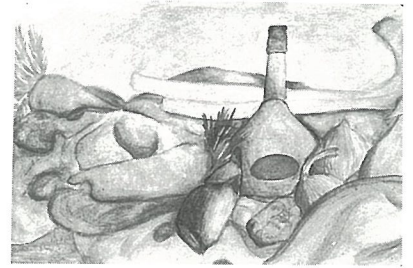


中一 向後尚平



4組 向後 尚平くん ※2つの字のバランスをとるのが、難しかったです。



『静物画』



1組 椎名 知子さん ※野菜の色づけが難しかったです。ピンと背景は、よくできました。

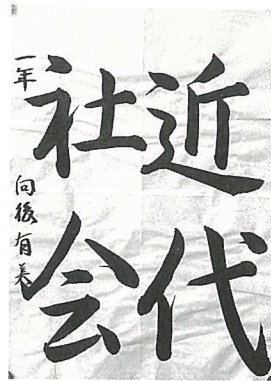
あつまれ みんなの力作



2組 小川 雅央くん ※雉子が難しかったです。よくできました。



『静物画』



一年 向後尚平



1組 向後 有美さん ※「代」のはねや、「近」のしんにゆうがよく書けませんでした。



伊藤真樹子



4組 伊藤 真樹子さん ※行書の所をわらかく書くのと、「理」の里のバランスが難しかったです。

中学校 1年生の作品を紹介しします。



2組 石井 千鶴さん ※植物の色の載せかたが、難しかったです。



『静物画』



鈴木 都根 (橋場) 風鈴の百の音色の一つ買う 迷いながらも競ひ合う音色の中の一つを選んだ。伝来の夏の風物詩の一駒である。

越川 福子 (宮内) 気まぜさを風鈴の音に救われし 風鈴の音が時の氏神となり気分転換、さ細な行き違いも氷解した。詩は心を救う。

大谷 武彦 (関) 生き甲斐をかみしめながら更衣 夏衣に替える作者の胸をふと懐しいが走った。古稀を過ぎた者の共通の心情に共感。

川原 淑子 (木戸) 花菖蒲湯浴みの音の嫁若し 下五の措辞が効いている。梅雨に映える花菖蒲が静なら、湯浴みの音は動である。

土屋 義昭 (虫生) 黒南風の空に打ち抜くテニスボール うっとうしい梅雨の季節に吹く南風が黒南風である。白球に作者の気持ちがある。

「短評」 椎名しげる